

金剛小通信 10月 DIAMOND

運動会

9月27日（日）、絶好の運動会日和に恵まれ、当初の計画計画どおり午前中の半日ではありましたが、全種目、盛大に開催することができました。

子供たちが考えた『みんなが主役 つくりだそう 新しい運動会』、コロナ禍の中という忘れられない年に、いろいろな制約のある中で迎える大会への強い思いのこもったスローガンの下、子供たちの「いつもとは違うけれども、こんな年だからこそ、素晴らしい運動会にしたい!」という熱意が、どの学年の、どの競技、どの演技からも、そして途切れることのない応援からも十分に伝わってきて大変うれしく思いました。プログラムの内容や練習ぶりは知っていた私も、本当に素晴らしい出来映えだと思えました。運動会練習を通じて確実に成長した姿を、皆様にきちんと披露することができたことにも感動しました。

これからも、ますます、校訓「やさしく・うつくしく・かしこく・たくましく」の実践ができる子供、それから『育成を目指す資質・能力』として掲げています「①当たり前ことができ、心を込めて次の一步を踏み出すことができる子供、②力を合わせて成し遂げることの尊さを理解することのできる子供、③主体的に課題に立ち向かい、友達と考えを広げ深め、次の学びに向かう子供」、そして「あいさつ、聞き方、そろえ方 + 約束を守る」に気を配れる子供を育てるため、職員一丸となって頑張っています。皆様もどうか同じ方向に向けてご支援くださいますよう、今後とも何卒よろしくお願いいたします。

新聞コンクール

10月1日（木）の熊本日日新聞に、6年2組の上田理心（りこ）さんが、「いっしょに読もう！新聞コンクール」（日本新聞協会主催、小中高校生・高専生対象）で、全国審査に進む優秀作品（県賞）に、小学生からただ一人選出されたことが掲載されました。このコンクールは、教育関係者と新聞・通信各社でつくる「県NIE推進協議会」が審査するものです。「NIE（エヌアイイー）」とは、学校等で新聞を教材として活用し、興味や関心の幅を広げる社会運動で、「教育に新聞を」（Newspaper in Education）という意味です。

熊日新聞によると、9月30日（水）に受賞者55人の氏名が発表され、その55点の内訳は、小学生1点、中学生18点、高校生36点で、文徳中学校に進学したお姉さんの上田愛琴（あこ）さん（中2）も受賞しています。本当におめでとうございます。

就学時健診

10月7日（水）、学校医の桑原先生、歯科医の中村先生を高植校にお招きして実施しました。弥次分校に入学予定の子供たちと保護者の皆様にも、4年生になったら通学することになる高植校にお越しいただいての健康診断等でした。

来年度の入学予定者は、高植校に17人（男子9、女子8）、弥次校にも17人（男子8、女子9）の合わせて34人の予定です。いつもと違い、新型コロナ感染防止対策で、就学児と保護者の方々に、お世話する5年生の子供たちの「入学後の5年分の成長」をご覧に入れられなかったのが残念です。元気に入ってきてくれるのを楽しみにしています。